

最先端技術13件紹介



国交省がピッチイベント

国土交通省は29日、建設現場への最新技術の導入に向け、行政や現場のニーズと最先端技術のシーズとをマッチングさせるピッチイベントを東京都内で開いた。建設現場の生産性向上策 i-Icon Construction 推進の一環。4月のニーズ説明会を受け、対応するシーズを発表し、現場導入に向けたマッチングを促進するのが狙い。今後も複数回開き、企業間連携や新技術開発につながる場にしていく。

産学官でつくる i-Icon Construction 推進のシーズを把握し、現場への技術導入に向けた検討を行っている。新技術発掘や企業間連携を促進するの目的に、ニーズとシーズを抽出するアンケートを2ヶ

初開催のピッチイベントに170人以上が詰め掛けた29日、東京都港区の三田共用会議所で

ピッチイベントで発表されたシーズ

(カッコ内は説明者)

■画像解析技術

▷水中3Dスキャナーによる水中構造物の形状把握、維持管理・点検技術(いであ)▷画像・映像の高度解析技術(NTTデータ経営研究所)

■構造物点検・モニタリング

▷AEセンサーを用いた打音現場検査装置とクラウドサーバーによる検査データ解析ならびに検査データベース管理(原子燃料工業)▷高精度の地上レーザースキャナーを利用した土木構造物の変化把握(八州)

■遠隔地からの状況把握

▷遠隔ビジュアルコラボレーションによる遠隔現場支援ソリューション(パイオニアVC)

■地形、構造物、作業員を識別する技術

▷ALLR(All Line Recognizer)による工程での不具合検知(リコージャパン)

■データ・ソフトなどの標準化

▷3D/2D(図面、技術文書統合管理システム「NaviPortal」(東電設計)▷次世代データ共有プラットフォームCIM-LINK(伊藤忠テクノソリューションズ)

■その他

▷交通規制をすることなく道路周辺の360度画像および3D点群データを収集する技術(トプコン)▷自動車計測技術の土木建設業への応用事例(曙ブレーキ工業)▷効率的なプラント設備監視手法(中日本建設コンサルタント)▷スマートフォン・IoTデバイスを活用した作業員の安全管理と生産性向上(日立ソリューションズ)▷3次元点群データ表示ソフトウェア「LaserMapView」(アジア航測)

3月に実施。ニーズで約1700件、シーズで約200件が寄せられた。

吉岡大蔵環境安全・地理空間情報技術調整官は「ニーズとシーズのコミュニケー

国交省は4月に行政や現場のニーズの説明会を開き、WG会員の約300人が参加。地方整備局職員やWG会員が29件のニーズを説明した上で、期待するシ

ーズ、求める技術を発表し、ピッチイベントには、WG会員の約170人が参加。説明会でのニーズに対応するシーズ8件、その他のシーズ5件の計13件についてシーズ保有者がそれぞれ発表した。

国交省官房技術調査課のとあいさつした。シーズを今後も重ね、その成果を現場に導入することが重要。最先端の要素技術を現場で試して、その結果をICT土工などに反映させ、進化させていきたい」と